

工学部

The department of technology

工学部は、工学に必要な学識や技術を習得し、指導力を兼ね備えた人材育成を目標としています。

工業化学科 (C)

♥工学部に属しながらも、化学と名がつく学科のせいかわりに職務質問をされそうな人はほとんどおらず、比較的爽やかなキャンパスライフを送れるはず。

工学部の他学科と違って神楽坂と九段の間、神楽坂の各校舎間を渡り鳥のように行き来する生活を強いられます。

教授陣はバラエティー豊かで、時に敬愛し、時に憎みながらも4年に上がる頃には必ず自分に向けた研究室を見つけられることでしょう。

♠ 名前の通り「工業化学」という、化学を工学的立場よりアプローチする学問をメインとして幅広く「化学」を学んでいく学科である。

♣ 1年次は必修科目を全部、一般教養は卒業に必要な分をとれるように頑張ってください。

単位をとった分だけ来年の負担は軽くなります。逆もまたしかりです。忙しい学科ですが決して心が折れませんように。

Ⅱ部経営工学科 (2i)

♥他の学科に比べて課題が少ない方なのでその点では楽ですが、実験もないのでクラスの人の間にまとまりはありません。でも話をしてみれば面白い人ばかりなのでいっぱい友達を作ってください。女性は全体の2割弱です。社会人の方も同じくらいです。

「経営工学概論」(前期)、友達と意見交換ができる「文献輪講」(後期)など、どちらもレポート提出が必須なのでがんばりましょう。

♠単に工学に留まらず情報・組織・人間が三位一体となった総合学。人間性豊かな技術者となるために基盤を養う。

♣数学Aはとにかく真面目にノートを取ること！テストでは積分分野のウエイト大きいです。

英語のテスト内容は簡単です。が…出席点重視。「テストで点取れるから大丈夫〜」。大丈夫ではありません。

Ⅱ部建築学科 (2A)

♥Ⅱ部建築学科は工学部の他の学科に比べて女子の人数が多く、個性的な服装の人が多です。また、現役から社会人までさまざまな年齢層の人が在籍し、すでに建築士の資格を持っている人もいます。授業での模型作りなどを通していろいろな人と話す機会があり友達になれたりします。さらに、他人の作品から刺激を受けることもあるが、先生が選んだ作品を見て「どうして？」と思うこともあれば、「どうして？」思われることもあります。

♠1年では物理や数学などを中心に基礎を学ぶ。2・3年では専門的なことを中心に学び、4年では卒業制作がある。

♣関門科目はそれぞれ過去問とノートを見直せばテストはできるはず。造形では隔週程度で模型を作製し、最後にポートフォリオの提出があるので作った作品は毎回写真を撮っておくと良い。

♥ 雰囲気

学科の雰囲気です。各学科の理科大らしい色濃い特徴がわかります。

♠ 学科紹介

学科の説明です。入った学科はどんな勉強するのか、将来を見据えるためにも確認してみてください。

♣ 先輩からの一言

各学科の先輩からの、テスト勉強やレポート、実験など勉強のアドバイスが書かれています。

機械工学科 (M)

♥正直に言って地味な学科ではありますが。しかし、だからといって様々な個性に対して排他的な雰囲気はなく、むしろ個性を発揮しやすい環境だと思います。勉強に対して積極的な空気を持っていて、テスト前はいい意味での競争の姿勢があります。ただこれも学科の個性なんです。サークルや部活に積極的に参加し色々な友達を作るのも大学の醍醐味です。

♠ 厳しい学科で有名かと思うが、その分内容を伴い自己の成長を望める学科である。

♣ 大学の勉強は自分でするものです。ですから自分との相性を見ながら授業の使い方を考えてみてください。先生の言うことに従う授業、ポイントのみ集中する授業といろいろあると思いますが、出席は何より大事です。

I部経営工学科 (i)

♥理系の学科ということもあってか、男子の比率が圧倒的に高いです。ただ、他の工学科に比べて少しだけ女子が多い傾向があります。最初は他の人と関わることが少ないですが、「フレッシュマンキャンプ」を境に共同作業が増えていき友達の輪が広がります。徐々に学校に慣れてくると授業によっては段々騒がしくなるのが毎年の良くない特徴だとか。調子に乗って気を抜きすぎてしまうと簡単に落とされてしまうことも…。

♠ 1年生では数学を中心に物理、化学、生物などの基礎的な科目を学ぶ。専門的な科目は2年生から学ぶ。

♣ 経営工学科は比較的楽な学科です。実験は全て出席していれば単位を貰えます。物理のレポートは友達と協力すると良いでしょう。テストは過去問を中心に勉強するとハズレは殆どありません。

I部建築学科 (A)

♥良くも悪くもとても忙しい学科。オレンジ色の大学生活とはほど遠い、毎週課題に追われるステキな薔薇色の日々が待っています。オタクからオシャレさんまで様々なカラーを持つ人々が混雑する学科で、徹夜必須の製図課題や留年の危機に直面するテストなど、様々な壁を友達と協力して乗り越えるうちにみんな仲良くなっていきます。ただ、九段校舎が狭すぎるため製図版や模型制作道具を学校に置くことが出来ず毎朝、満員電車で持参することになります。

♠ 技術者・設計者となるための、デザインや構造、設備など建築の幅広い分野を学ぶことができます。就職は多岐にわたる。

♣ 九段という立地を生かした、理科大ならではの建築の勉強の仕方がたくさんあります。この大学で自分なりの建築スタイルを是非見つけて下さい。皆さん勉強頑張りましょう。

I部電気工学科 (E)

♥E科は工学部の中でも特に女の子が少ない学科です。10パーセント以下はざらです。全体としては女性が少ないのも相まってかマニアックな雰囲気です。マニアックな知識を持っているほうが群れからはぐれにくいかもしれません。また勉強の面に関しては、実験のレポートに追われます。提出期限が月曜の朝なので早起きの習慣のない人は気をつけましょう。また数学、物理が手ごわいので心して取りかかるようにしましょう。

♠ 1年では基礎となる数学、物理を勉強する。2・3年生では電気の詳細な知識を身に付け、4年で研究を始める。

♣ E科を選んでくれた君！ありがとう！！そんな君に朗報。E科は就職が良い。しかし授業は忙しい。忙しさの象徴である実験レポートや数学のテストなどに押しつぶされずに大学生活を満喫しよう。

Ⅱ部電気工学科 (2E)

♥実験もあるので年齢関係なく多くの人と親交が深められます。働きながら大学に通っている人が多いので、授業の雰囲気も緊張感に溢れて、まじめに勉学に励める環境です。試験勉強・レポート等でお互いに助け合っています。女性の方が少ないです(笑)工学部に共通していますが、教職関連の単位を取ることが難しいです。08年度は現役生・浪人生・社会人が大体同じ割合でした。一授業90分なので集中力が問われます。寝たら負けです。

♠ 主に電気・電子に関連した内容を学ぶ。また電気に関する実験が毎年ある。1年生は専門内容の基礎となる勉強が中心となる。

♣ 関門試験では授業で扱った事と演習内容が中心なので、毎回授業に出席することが単位取得に繋がります。実験自体は難しくありません。レポートを期日までに提出するかが重要。実験の単位はレポートの提出次第です。